

# と う め い

発行所  
とうめい新聞社

電話(0561)84-2458  
FAX(0561)84-2454  
http://www.setolink.ne.jp/tomei/  
〒489-0805 瀬戸市陶原町1-8  
(愛陶工西館3階)

購読料 1か月1,630円(税込)

## 瀬戸市長選

# 水野昇氏が立候補表明

## 万博記念公園の整備中止に

4月の統一地方選で実施される瀬戸市長選に立候補する意向を示していた元尾張旭市議の水野昇氏(55)＝瀬戸市品野町Ⅱが26日、市役所で記者会見し、無所属での出馬を正式に表明した。同市長選にはこれまで、現職の増岡錦也氏(71)＝2期目、無所属Ⅱが3選をめざして出馬を表明しているだけで無投票当選の可能性もあったが、選挙戦は確実な情勢になった。

(早瀬隆一)

水野氏は会見で現市機を説明した。「税金にしたがう」とのべた。税金の無駄づかいは、市民の理解を得て使い、なくすのを最重要課題と見た。水野氏は、「市民の生活に直結する政策を優先し、政策の企画段階から決定まで、市民が参画できるまちを整備する必要はない。暮らしに結びつく道路整備など、インフラ整備に予算配分すべきだ」と訴え、建設中止の考えを示した。また、市民の意見を行政に反映させるため、政策決定に市民が直接関わる制度「市民自治条例」の制定ほか、市職員に担当地域を持たせ、市民要望を募るほか、不動産賃貸業などを営んでいる。街頭演説や個人演説会、マニフェスト、選挙公報、ホームページなどで政策を訴えるという。



瀬戸市長選への立候補を正式に表明した水野昇氏＝瀬戸市役所で

望を直接受ける組織体制の構築など、市民参加を促す仕組みづくりや、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)との協働による生ごみ分別処理システムの開発、福祉、子育て、教育支援などについて政策を語った。水野氏は瀬戸市出身。1985年11月から尾張旭市議会議員を3期務め、副議長などを歴任した。95年の愛知県議選に出馬したが落選。99年の名古屋市長選(東区)、01年の尾張旭市長選、03年の瀬戸市議選にも出馬し、一貫して税金の無駄づかいは、天下り撲滅を訴えたが、いずれも敗退している。現在は、NPO法人環境愛知(一宮市)の理事・事務長を務めるほか、